

アスパラガス新品種 「ハルキタル(アスパラガス福島交3号)」の育成

福島県農業試験場 育種班
平成15年度農業試験場試験成績概要書
分類コード 03-35-03000000

部門名 野菜－アスパラガス－育種・選抜
担当者 園田高広・金山貴明

I 新技術の解説

1 要旨

(1) 育成経過(図1)

「ハルキタル(アスパラガス福島交3号)」は、喜多方市の生産ほ場で栽培されていた「メリーワシントン500W」の中から平成5～7年の間で年次間の変動がなく、良質であったことで選抜された優良雌系統「9307」と、「メリーワシントン500W」と「Gijnlim」の後代から選抜された超雄系統「9701」の一代雑種である。

(2) 特性概要

ア 収穫期の特性:春先の萌芽は早く、収穫茎数はやや多く、若茎の伸びは良く、多収性を示す(図2)。若茎の色はやや淡緑色で、若茎の頭部、りん片葉および基部でのアントシアニン色の発現はやや少ない。若茎の頭部のしまりは緊密で、揃いはきわめて良い。

イ 擬葉展開期の特性:草勢は旺盛で、草丈はやや長く、節間長は長い。第一側枝の高さはやや高い(表1)。雄株率が100%であるため、結実株はない(ただし、気候によって0～数%の株に極少量の結実が起こる場合もある)。斑点病の発生はやや少ない。

2 期待される効果

「ハルキタル(アスパラガス福島交3号)」は、収穫若茎の揃い性が極めて良好であるため、調製作業が省力化されるとともに、高い市場評価が期待される。また、第一側枝の発生位置が高いことから、栽培管理、収穫作業の省力化が図れる。さらに、茎枯病発生の主要な伝染源となる野良苗の発生が無い全雄系統であるため、茎枯病の発生が軽減されるとともに、野良苗の雑草化を防止するための除草剤使用が回避できる。若茎の伸びが良いことから、気温が高いときに1日2回の収穫を行うことで、増収が期待される。

3 適用範囲

本系統は優れた形質および収量性を有するため、県内全ての地域での栽培に適する。

4 普及上の留意点

斑点病の発生はやや少ないが、他の病虫害に対する抵抗性は付与していないので、慣行の防除が必要である。

II 具体的データ等

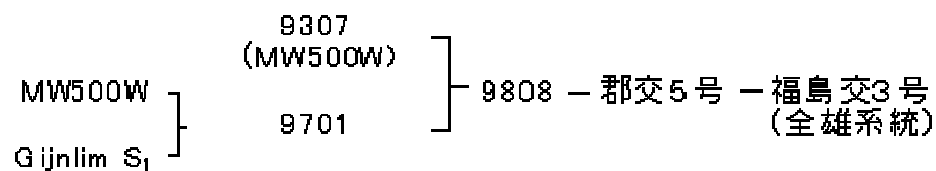


図1 「アスパラガス福島交3号」の育成経過図

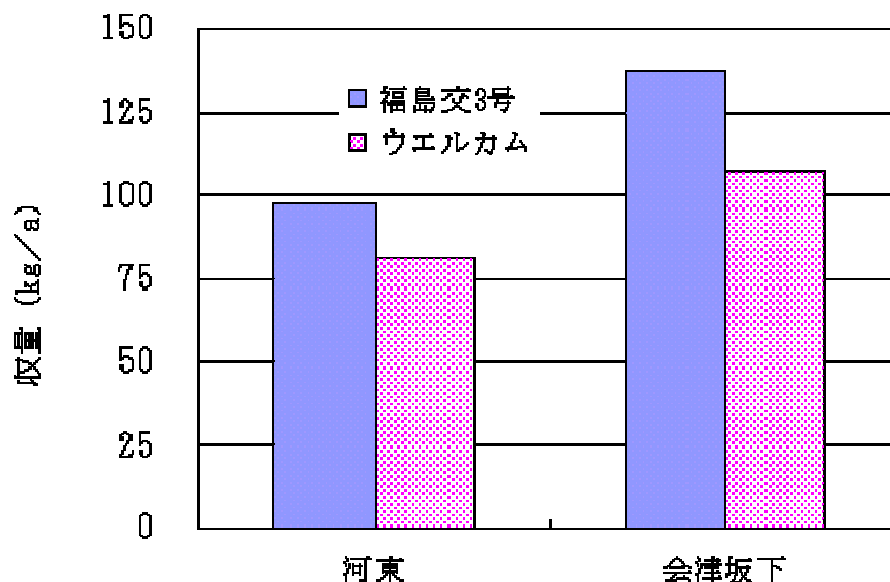


図2 平成15年度現地試験における「アスパラガス福島交3号」の収量性
(定植：平成13年6月、株齢3年、収穫期間：河東53日、会津坂下90日)

表1 「アスパラガス福島交3号」の生育（調査場所：農業試験場、株齢：4年）

供試品種	最長草丈 (cm)	最大茎径 (mm)	茎数 (本)	節間長 ¹⁾ (cm)	第一側枝の高さ ²⁾ (cm)
福島交3号	266	16.8	3.3	17.0	57.0
ウエルカム	263	19.6	7.2	16.0	54.9

¹⁾第一側枝着生部から上5節目までの茎の長さ

²⁾地際から第一側枝着生部までの茎の長さ

Ⅲ その他

1 執筆者

園田高広、金山貴明、高橋 徹

2 主な参考文献・資料

なし